

外国語（教科型） 学習指導案

学校名 海田町立海田小学校

- 1 日時 平成29年11月30日（木） 第3校時
- 2 学年 第6学年2組 男子13名 女子16名 計29名
- 3 単元名 Dream 6-9 My town is beautiful. 私たちの町を紹介しよう
<Hi, friends! 2 Lesson 4 Turn right.（道案内, 位置関係, 施設・建物）/
[新教材] We Can! 2 Unit 4 I like my town.（町の紹介, 状態や様子, 自然,
飲食物, 特産品等）>

4 単元について

- 本単元は、自分の住んでいる地域を簡単な表現を用いて説明することと、地図を見て一緒に歩きながら道案内を行うことを組み合わせた活動を通して、地域のよさを紹介したり、道案内を行ったりする表現に慣れ親しむものである。単元を貫く活動として、海田町を訪れる旅行者に名所を紹介し、海田市駅からの道案内を行うガイドのやり取り表現集の作成を設定している。地域のよさを紹介する内容は、総合的な学習「我が国の自然・文化に触れよう」の単元と関連した学習で、既習の Dream 6-7 Welcome to Japan. で日本の様々な地域のよさを表現した内容をさらに発展させるものである。

本単元では、主に既習の様子を表す表現や、好きなこと、できることを紹介する表現と、新出の道案内の表現を扱っている。道案内の表現は、将来旅行者とのやりとりなど身近な場面で活用できる題材であり、中学校英語科では第2学年教科書（SUNSHINE ENGLISH COURSE 開隆堂）POWER-UP Speaking 6 で地図を見ながら徒歩で移動する際の道案内、第3学年 Speaking 2 で路線図を見ながら電車を乗り換えて移動する際の道案内を学ぶ。また身近な建物の語彙も取り扱っており、日本語と英語の音声の違いに気付きながら、自己表現につながる語彙を増やすことのできる題材でもある。また、単元の最後には、児童が実際にやり取り表現集を用いて実際に ALT に案内を行うことから、「話すこと（やり取り）」における相手意識をもった活動のできる題材である。

- 本学年の児童は、第1, 2学年時に年間7時間、第3, 4学年時に年間13時間、第5学年では20分と25分の短時間学習も含めた年間35時間の外国語活動を学んできている（1～4年は裁量時間）。また、第3学年からは毎日各学級で「ひとくち英語」に取り組み、外国語に触れている。6年生になってからは、「ひとくち英語」に加え、英語でのやり取りを続けることを目指す「English Time Card」への取組も行っている。帰りの会等で、テーマに沿って友達と英語での対話を行い、やりとりを5往復以上続けることを目標としているが、最近ではテーマ以外の会話も自由に楽しみだした児童の姿も見られる。

本学級の児童は、外国語活動に対して真面目で意欲的に取り組んでいるが、人前で自己表現をすることには苦手意識を持っている児童が多い。9月に行ったアンケート調査では、90%（29名中26名）の児童が「外国語活動の授業が好き。」と回答しており、「授業中は、自分からすすんで英語

を使おうとしている。」は93% (27名)、「相手が話したことに対して、英語で反応したり、質問したりしてできるだけ話を続けようとしている。」は97% (28名)が肯定的な回答を行っているなど、英語を使うことに対して意欲的である。一方で、「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい。」という設問は肯定的回答が77% (22名)とあまり高くなく、実際の場面でのコミュニケーションにはやや消極的であることがわかった。

○ 指導に当たっては、ALTの友達が来日するので、海田町を案内するためのやり取り表現集を作成してほしいという依頼のVTRから単元のゴールを定めることで、主体的にやり取りをしながら道案内をしたり自分の町の良いところを紹介したりする英語表現を身に付けさせる。やり取り表現集を改善するために自分たちで案内役とゲスト役をしてやり取りを行ったり、実際にALTに案内をして見せたりすることで、繰り返しやり取りの活動を入れていく。その際、単元の目標とするやり取りが、単に友達同士で行うだけのもではなく、外国からの訪問者に対するものであることから、より丁寧に分かりやすく、伝わりやすい表現となることを意識させる。学級担任や外国語担当がやり取りのモデルを示し、話す内容だけでなく話し方や表情なども含めたコミュニケーションの望ましい姿を見せることで、望ましい児童のコミュニケーションの態度の育成を図る。

地域のよさを紹介する表現では、総合的な学習の時間で児童が自ら調べたことを生かしていく。canや様子を表す形容詞等の既習表現を活用し、さらに和英辞典等を使って自分が伝えたいことを英語で表現させることを通して、自分が話したり書いたりした英語が相手に伝わるといった喜びを味わわせて学びに向かう姿勢を育てていく。

書く活動を行うに当たっては、まずは本単元で用いる語句や表現を繰り返し「聞く」「話す」活動を数多く設定し、それらを用いた自己表現活動やコミュニケーション活動を行うことで、音声面で十分に慣れ親しませる。その際に単語や表現を4線上に表記したカードを並べて提示することで、単語の形の正確な把握や、語順への気付きを促す。その上で表現を書き写したり、自分で調べたり選んだりした語を用いて文を完成させたりすることで、音声から文字へと慣れ親しみを深めていく。

また、今年度全ての単元を通して取り組んでいる、発話に対して反応の言葉を添えてやり取りを行う対話活動で学んだことを生かして、問いかけに対して答えるだけの一方通行のやり取りではなく、反応や感想、問い返しなどをして話を続けることを促し、児童が自信をもって英語で話すことのできる雰囲気作りを意識して進めていく。

5 単元の目標

- 他者に配慮しながら、地域にある建物やそれが場所について説明したり、そのよさについて自分の考えや気持ちなどを伝えたりしようとする。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 地域にある建物やそのよさについて、書かれたものを読んだり書き写したりしようとする。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 地域にある建物の場所や位置関係、よさについての説明を聞いて概要を捉えたり、その建物やそれが場所について説明したり、そのよさについて自分の考えや気持ちなどを伝えあったりする。【外国語への慣れ親しみ】
- 地域にある建物や場所の位置関係、そのよさなどについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを読んだり、他者に伝えるなどの目的をもって書き写したりする。【外国語への慣れ親しみ】

○ 日本語と英語との建物の表し方の違いや、英語の文の語順、書くときの決まりに気付く。

【言語や文化に関する気付き】

6 単元の評価基準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する 気付き
<ul style="list-style-type: none"> ・他者に配慮しながら、地域にある建物やそれがあある場所について説明したり、そのよさについて自分の考えや気持ちなどを伝えたりしようとしている。 ・地域にある建物やそのよさについて、書かれたものを読んだり書き写したりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にある建物の場所や位置関係、よさについての説明を聞いて概要を捉えたり、その建物やそれがあある場所について説明したり、そのよさについて自分の考えや気持ちなどを伝えあったりしている。 ・地域にある建物や場所の位置関係、そのよさなどについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを読んだり、他者に伝えるなどの目的をもって書き写したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語と英語との建物の表し方の違いや、英語の文の語順、書くときの決まりに気付いている。

7 使用表現・語彙

【主な使用表現・語彙】

- ・ Where is the (station)? Go straight (for three blocks).
Turn right/left (at the third corner). You can see it on your right/left.
- ・ We have (many temples). ・ This is Chiba-ke. It's (old and beautiful).
You can (see old things). Kaita-cho is a nice town.
- ・ 施設 (station, amusement park, aquarium, library, park, department store), think, but, so

【繰り返しの使用表現・語彙】

- ・ Where do you want to go? I want to go to (Kaita). ・ I want to see/go to/visit (Chiba-ke).
- ・ 状態や様子を表す語、飲食物、動作、スポーツ

8 単元計画（8時間【（1, 3, 4, 5, 6, 8時）6時間＋（2, 7時）6モジュール（15分）】）

時	目標と主な活動	表現・会話例	評価規準(方法)
1	<p>○他者に配慮しながら、地域にある建物やそれがあある場所について説明したり、そのよさについて自分の考えや気持ちなどを伝えたりしようとする。</p> <p>海田町を案内するための計画を立てよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ダニエル先生(ALT)のビデオレターを見よう。」 <p>※この単元で取組む課題を知り、単元の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やり取り表現集を作るために必要なことを考えよう。」 ・【Chant】 Let's go to Kaita! (オリジナル) ・「どこを紹介するかを決めよう。」 	<p>Where do you want to go? I want to go to (Kaita). I want to [see] (old things).</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他者に配慮しながら、地域にある建物やそれがあある場所について説明したり、そのよさについて自分の考えや気持ちなどを伝えたりしようとしている。 <p>【コ】(行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析)</p>

2	<p>○地域にある建物の場所や位置関係についての説明を聞いて概要を捉えたり, その建物やそれがあある場所について説明したりする。</p> <p>○日本語と英語との建物の表し方の違いや, 英語の文の語順, 書くときの決まりに気付く。</p> <p>いろいろな建物の言い方を知ろう。</p> <p>A ・【Chant】ビルじゃなくて building (『バナナじゃなくて banana チャンツ』)</p> <p>・「いろいろな建物の言い方を知ろう。」</p> <p>・「地図記号クイズをしよう。」</p> <p>海田町にある建物などを英語で言ってみよう。</p> <p>B ・「海田町マップポインティングゲーム」</p> <p>・「海田町にある建物などを, 英語で言ってみよう。」</p> <p>英語版海田町マップを作ろう。</p> <p>C ・【Chant】Where do you want to go? (海田 ver.)</p> <p>・「英語版海田町マップを作ろう。」</p>	<p>Where is the (station)?</p> <p>施設 (station, amusement park, aquarium, library, park, department store など)</p>	<p>・地域にある建物の場所や位置関係についての説明を聞いて概要を捉えたり, その建物やそれがあある場所について説明したりしている。【慣】</p> <p>・日本語と英語との建物の表し方の違いや, 英語の文の語順, 書くときの決まりに気付いている。【気】</p> <p>(行動観察, ワークシート点検, 海田町マップ評価, 振り返りカード分析)</p>
3	<p>○地域にある建物の場所や位置関係についての説明を聞いて概要を捉えたり, その建物やそれがあある場所について説明したりする。</p> <p>海田町マップで道案内をしよう。</p> <p>・「道案内の英語表現を知ろう。」</p> <p>・【Chant】Where is the station? (海田 ver.)</p> <p>・「先生がどこに行くのか聞き取ろう。」</p> <p>・「海田町マップで道案内をしよう。」</p>	<p>Where is the (station)?</p> <p>Go straight (for three blocks).</p> <p>Turn right/left (at the third corner).</p> <p>You can see it on your right/left.</p>	<p>・地域にある建物の場所や位置関係についての説明を聞いて概要を捉えたり, その建物やそれがあある場所について説明したりしている。【慣】</p> <p>(行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析)</p>
4	<p>○他者に配慮しながら, 地域にある建物やそれがあある場所について説明したり, そのよさについての考えや気持ちなどを伝えたりしようとする。</p> <p>○地域にある建物の場所や位置関係, よさについての説明を聞いて概要を捉えたり, その建物やそれがあある場所について説明したり, そのよさについての自分の考えや気持ちなどを伝えあったりする。</p> <p>海田町の名所を案内するために必要な表現を話し合おう。</p> <p>・【Chant】Let's go to Kaita! (オリジナル)</p> <p>・「グループで案内したい場所について, 英語で説明してみよう。」</p> <p>・「他のグループとやり取りをして, 伝えてみよう。」</p> <p>・「もっとよさが伝わる表現になるようなアドバイ</p>	<p>A: Welcome to Kaita!</p> <p>Kaita is a nice town.</p> <p>We have many good places.</p> <p>What do you want to do?</p> <p>B: I want to see old Japanese things.</p> <p>A: How about Chiba-ke?</p> <p>It's an old house.</p> <p>You can see Japanese -style garden.</p> <p>It's beautiful!</p> <p>B: Good! I want to go there.</p>	<p>・他者に配慮しながら, 地域にある建物やそれがあある場所について説明したり, そのよさについての考えや気持ちなどを伝えたりしようとしている。【コ】</p> <p>・地域にある建物の場所や位置関係, よさについての説明を聞いて概要を捉えたり, その建物やそれがあある場所について説明したり, そのよさについての自分の考えや気持ちなどを伝えあったりしている。</p>

	スし合おう。」		【慣】 (行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析)
5	<p>○地域にある建物やそのよさについて, 書かれたものを読んだり書き写したりしようとする。</p> <p>○地域にある建物や場所の位置関係, そのよさなどについて, 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを読んだり, 他者に伝えるなどの目的をもって書き写したりする。</p> <p>やり取り表現集の下書きを作成しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【Chant】 Let's go to Kaita! (オリジナル) ・「グループで, 自分たちの行う案内のやり取りをしよう。」 ・『海田町ガイドやり取り表現集』の下書きをしよう。」 	<p>A: Welcome to Kaita! Kaita is a nice town. We have many good places. What do you want to do?</p> <p>B: I want to see old Japanese things.</p> <p>A: How about Chiba-ke? It's an old house. You can see Japanese -style garden. It's beautiful!</p> <p>B: Good! I want to go there. Where is Chiba-ke?</p> <p>A: OK. Go straight. Turn right. Turn left. Here is Chiba-ke.</p> <p>A: Thank you! B: You're welcome.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にある建物やそのよさについて, 書かれたものを読んだり書き写したりしようとしている。【コ】 ・地域にある建物や場所の位置関係, そのよさなどについて, 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを読んだり, 他者に伝えるなどの目的をもって書き写したりしている。【慣】 <p>(行動観察, やり取り表現集評価, 振り返りカード分析)</p>
6 本 時	<p>○他者に配慮しながら, 地域にある建物やそれがあある場所について説明したり, そのよさについて自分の考えや気持ちなどを伝えたりしようとする。</p> <p>○地域にある建物の場所や位置関係, よさについての説明を聞いて概要を捉えたり, その建物やそれがあある場所について説明したり, そのよさについて自分の考えや気持ちなどを伝えあったりする。</p> <p>海田町ガイドのやり取りをして, より伝わりやすい工夫を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【Chant】 Let's go to Kaita! (オリジナル) ・【Chant】 Where is the station? (海田 ver.) ・【短い話を聞く活動】「ガイドのやり取りのモデルを聞こう。」 ・「案内役とゲスト役に分かれて, ガイド体験をしよう。」 ・「より伝わりやすくするためのアドバイスをし合おう。」 ・「グループで表現や伝え方を工夫して, もう一度ガイド体験をしよう。」 	<p>A: Welcome to Kaita! Kaita is a nice town. We have many good places. What do you want to do?</p> <p>B: I want to see old Japanese things.</p> <p>A: How about Chiba-ke? It's an old house. You can see Japanese -style garden. It's beautiful!</p> <p>B: Good! I want to go there. Where is Chiba-ke?</p> <p>A: OK. Go straight. Turn right. Turn left. Here is Chiba-ke.</p> <p>A: Thank you! B: You're welcome.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他者に配慮しながら, 地域にある建物やそれがあある場所について説明したり, そのよさについて自分の考えや気持ちなどを伝えたりしようとしている。【コ】 ・地域にある建物の場所や位置関係, よさについての説明を聞いて概要を捉えたり, その建物やそれがあある場所について説明したり, そのよさについて自分の考えや気持ちなどを伝えあったりしている。【慣】 <p>(行動観察, 振り返りカード分析)</p>

7	<p>○地域にある建物やそのよさについて、書かれたものを読んだり書き写したりしようとする。</p> <p>○地域にある建物や場所の位置関係、そのよさなどについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを読んだり、他者に伝えるなどの目的をもって書き写したりする。</p> <hr/> <p>やり取り表現集をより分かりやすいものにしよう。</p> <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アドバイスの内容を振り返ろう。」 ・「やり取り表現集を改良しよう。」 <hr/> <p>相手に伝わりやすいやり取りの仕方を考えよう。</p> <p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「案内の仕方を確認しよう。」 ・「やり取りの仕方の工夫を考えよう。」 <hr/> <p>やり取りしながら案内する練習をしよう。</p> <p>C</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やり取りの仕方の工夫を交流しよう。」 ・「グループでやり取りの練習をしよう。」 	<p>A: Welcome to Kaita! Kaita is a nice town. We have many good places. What do you want to do? B: I want to see old Japanese things. A: How about Chiba-ke? It's an old house. You can see Japanese-style garden. It's beautiful! B: Good! I want to go there. Where is Chiba-ke? A: OK. Go straight. Turn right. Turn left. Here is Chiba-ke. A: Thank you! B: You're welcome.</p>	<p>・地域にある建物やそのよさについて、書かれたものを読んだり書き写したりしようとしている。【コ】</p> <p>・地域にある建物や場所の位置関係、そのよさなどについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを読んだり、他者に伝えるなどの目的をもって書き写したりしている。【慣】</p> <p>(行動観察, やり取り表現集評価, 振り返りカード分析)</p>
8	<p>○他者に配慮しながら、地域にある建物やそれがある場所について説明したり、そのよさについての考えや気持ちなどを伝えたりしようとする。</p> <p>○地域にある建物の場所や位置関係、よさについての説明を聞いて概要を捉えたり、その建物やそれがある場所について説明したり、そのよさについての自分の考えや気持ちなどを伝えあったりする。</p> <hr/> <p>「海田町ガイドやり取り表現集」を使って案内をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【Chant】 Let's go to Kaita! (オリジナル) ・【Chant】 Where is the station? (海田 ver.) ・「グループでやり取りの練習をしよう。」 ・「ダニエル先生をいろいろな場所に案内してみよう。」 <p>●単元ふり回りカードの記入</p> <p>※内容面と言語面について振り返る。</p>	<p>A: Welcome to Kaita! Kaita is a nice town. We have many good places. What do you want to do? B: I want to see old Japanese things. A: How about Chiba-ke? It's an old house. You can see Japanese-style garden. It's beautiful! B: Good! I want to go there. Where is Chiba-ke? A: OK. Go straight. Turn right. Turn left. Here is Chiba-ke. A: Thank you! B: You're welcome.</p>	<p>・他者に配慮しながら、地域にある建物やそれがある場所について説明したり、そのよさについて自分の考えや気持ちなどを伝えたりしようとしている。【コ】</p> <p>・地域にある建物の場所や位置関係、よさについての説明を聞いて概要を捉えたり、その建物やそれがある場所について説明したり、そのよさについて自分の考えや気持ちなどを伝えあったりしている。【慣】</p> <p>(行動観察, やり取り表現集評価, パフォーマンス評価, 振り返りカード分析)</p>

9 本時の学習

(1) 本時の目標

- 他者に配慮しながら、地域にある建物やそれが場所について説明したり、そのよさについて自分の考えや気持ちなどを伝えたりしようとする。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 地域にある建物の場所や位置関係、よさについての説明を聞いて概要を捉えたり、その建物やそれが場所について説明したり、そのよさについて自分の考えや気持ちなどを伝えあったりする。【外国語への慣れ親しみ】

(2) 本時の評価規準

- ・他者に配慮しながら、地域にある建物やそれが場所について説明したり、そのよさについて自分の考えや気持ちなどを伝えたりしようとしている。
- ・地域にある建物の場所や位置関係、よさについての説明を聞いて概要を捉えたり、その建物やそれが場所について説明したり、そのよさについて自分の考えや気持ちなどを伝えあったりしている。

(3) 使用表現・語彙

【主な使用表現・語彙】

- ・ Where is the (station)? Go straight (for three blocks).
Turn right/left (at the third corner). You can see it on your right/left.
 - ・ This is Chiba-ke. It's (old and beautiful). You can (see old things).
 - ・ 施設 (station, amusement park, aquarium, library, park, department store など), think, but, so
- #### 【繰り返しの使用表現・語彙】
- ・ Where do you want to go? I want to go to (Kaita). I want to [see] (old things).

(4) 準備物

タブレット【ICT教材】、教師用絵カード、表現カード、キャラクター設定カード、作成したやり取り表現集（海田町マップ付き）

(5) 本時の学習展開

過程	学習活動	指導上の留意事項（◇） ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て	評価基準 [評価方法]
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶をする。 ・挨拶をする。（指導者と・ペアで） ・曜日、日付、天気を言う。 ○【Chant】 Let's go to Kaita! （オリジナル） ○【Chant】 Where is the station? （海田 ver.） ・ICT教材を見ながら言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇はっきりとした声で、気持ちのよい挨拶を交わす。 ◇案内のやり取りで使う表現を確認してから、リズムに乗って一緒に言う。 	

	<p>○【短い話を聞く活動】「ガイドのやり取りのモデルを聞こう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者のやり取りを見て、どのような表現を使っているかを聞き取る。 	<p>◇HRT と JTE がやり取りのモデルを示すことで、話す内容だけでなく、話し方や表情なども含めたコミュニケーションの望ましい姿について児童に意識付ける。</p>	
<p>(児童に向かって) HRT : I'm a guide. JTE : I'm a foreigner.</p> <p>HRT : Hello! JTE : Hello!</p> <p>HRT : Welcome to Hiroshima! What do you want to do? (パンフレットを見せる。)</p> <p>JTE : Well.... I want to eat something.</p> <p>HRT : How about the sweets shop? You can eat momiji-manju. It's delicious!</p> <p>JTE : Good! I want to go there. Where is the momiji-manju shop?</p> <p>HRT : OK. (地図を指差しながら) Go straight. Turn right. Turn left.</p> <p>Here is the momiji-manju shop.</p> <p>JTE : I see. Thank you.</p> <p>HRT : And... (地図上の通り道を指差しして) this is a good running course.</p> <p>Mr. Hamada, my teacher, runs this road every morning.</p> <p>JTE : Oh, really? I like running! Thank you very much!</p> <p>HRT : You're welcome. Have a nice day!</p>			
	<p>○単元の目的を確認し、本時のめあてを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> *単元の目的は海田町ガイドやり取り表現集を作り、ダニエル先生に実際にやり取りをしてみせること。 *前時までにやり取りしたい内容を考えて、やり取り集の下書きをしたので、先生たちのモデルの海田町バージョンをやる。 	<p>◇前時までに行っていることを振り返らせ、外国からの訪問者にどのように案内をすれば分かりやすいのか、質問された時にはどう答えればいいのかなど、本時で考えさせたいことを引き出す。</p>	
<p>海田町ガイドのやり取りをして、より伝わりやすい工夫を考えよう。</p>			
<p>展 開</p>	<p>○「案内役とゲスト役に分かれて、ガイド体験をしてみよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような順序で案内を行うかを発表する。 *挨拶と歓迎の言葉 *何がしたいかを尋ねる表現 *おすすめの場所と、そこでできることや様子を伝える表現 *道案内の表現 	<p>◇総合的な学習の時間に体験した、西国街道ボランティアの方の案内と同様に、海田市駅からスタートするという設定を確認する。</p> <p>◇既習事項を使って、児童自身の言葉でやり取りができるように、これまでの学習をふりかえりながら、使うことのできる表現を確認する。</p> <p>◆表現カードを提示しながら、どのよ</p>	

<p>*道中のおすすめ情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内の仕方やし方で先生のモデルを真似したいところを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> *ジェスチャーをしながら伝える。 *地図を指差す。 ・地域別の3グループ(各2班)に分かれ、やり取り表現集の下書きで書いた場所について、他のグループの児童とガイドの模擬体験を行う。外国人観光客の役をする児童はしたいことが書いてあるカードをくじで選んでやり取りをする。 <p>[1回目] group A⇔B, C⇔D, E⇔F</p>	<p>うな順序で話していたのかを視覚的に整理していく。</p> <p>◇ジェスチャーや表情、地図を指差しながら案内することなど、実際に児童が行う時に意識させたいことを確認していく。</p> <p>◇ゲスト役は自分が外国人観光客になったつもりで聞くということを確認し、反応や質問をしながら聞かせる。</p> <p>◆机間指導を行い、うまくやり取りできていない児童のそばに行って言い方を教えるなどの支援を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にある建物の場所や位置関係、よさについての説明を聞いて概要を捉えたり、その建物やそれがある場所について説明したり、そのよさについて自分の考えや気持ちなどを伝えあったりしている。 <p>【慣】[行動観察, 振り返りカード分析]</p>
<p>【やり取りの例】<see を選んだ例></p> <p>A (案内役) : Hello! B (ゲスト役) : Hello!</p> <p>A : Welcome to Kaita! What do you want to do? (パンフレットを見せる。)</p> <p>B : Well... I want to see old Japanese things.</p> <p>A : How about Chiba House? It's an old house.</p> <p> You can see Japanese-style garden. It's beautiful!</p> <p>B : Good! I want to go there. Where is Chiba-ke?</p> <p>A : OK. (地図を指差しながら) Go straight. Turn right. Turn left.</p> <p> Here is Chiba House.</p> <p>B : I see. Thank you!</p> <p>A : And... (地図上の通り道を指差して) You can sometimes see a weasel (itachi) on this road.</p> <p>B : Wow! I like animals. I want to see! Thank you very much.</p> <p>A : You're welcome. Have a nice day!</p>		
<p>○「より伝わりやすくするためのアドバイスをし合おう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やり取りについての気付きを発表する。 ・やり取りの内容や伝え方などで改善した方がよいと思うところをアドバイスし合う。 <p>*いいところはジェスチャーをしながら伝えると分かりやすい。</p>	<p>◇海田町の名所のよさをより伝えるには、ほかにどのような表現があるか、どのような方法で伝えたらよいかをアドバイスし合う。</p> <p>◆英語面や内容面での指導者の気付きで、児童から出てこなかったものを、例をあげて引き出す。</p> <p>◆机間指導を行い、うまく交流のできていないグループを支援する。</p>	

	<p>*もっと外国の人が興味をもてそうな情報に変かえてはどうか。 *この近くに〇〇があるので、そこもあわせて紹介してはどうか。</p> <p>○「グループで表現や伝え方を工夫して、もう一度ガイド体験をしよう。」 ・アドバイスを受けて、改良しようと思うことをグループで相談する。 ・工夫を加えて、他のグループの児童とガイドの模擬体験を行う。 [2回目] group A⇔D, B⇔E, C⇔F</p>	<p>◇机間指導を行い、アドバイスを生かしてよい紹介や案内ができていない児童を評価する。 ◆机間指導を行い、うまくやり取りできていない児童のそばに行って言い方を教えるなどの支援を行う。</p>	<p>・他者に配慮しながら、地域にある建物やそれがある場所について説明したり、そのよさについて自分の考えや気持ちなどを伝えたりしようとしている。 【コ】[行動観察, 振り返りカード分析]</p>
	<p>★【めざす子どもの姿】</p> <p>既習表現を活用し、相手意識をもって、自分が案内したい場所と、そこでできることや様子などを伝えるやり取りを行っている。</p> <p><eat を選んだ例></p> <p>A (案内役) : Hello! B (ゲスト役) : Hello!</p> <p>A : Welcome to Kaita! What do you want to do? (パンフレットを見せる。)</p> <p>B : Well.... I want to eat somethings.</p> <p>A : How about okonomiyaki? It's nice.</p> <p>B : Good! I want to eat okonomiyaki. Where is the okonomiyaki restaurant?</p> <p>A : OK. (地図を指差しながら) Go straight. Turn right. Turn left.</p> <p>Here is Okonomiyaki restaurant.</p> <p>B : I see. Thank you</p> <p>A : Oh! Do you want a guide book? (地図を指差しながら) This is a book store.</p> <p>B : Thank you very much.</p> <p>A : You're welcome. Have a nice day!</p>		
<p>ま と め</p>	<p>○本時の活動をふり返る。 ・振り返りカードを記入する。 【言語面と内容面で振り返り】 ・数名の児童がふり返りを発表する。</p>	<p>◇You can ～. It's ～.などの表現や、ジェスチャーや表情などの非言語コミュニケーションの姿などに触れてまとめを書けるようにする。 ◇相手意識をもってやり取りを行ったことを評価し、次時にやり取り集を改良したり、さらに工夫して言えるように練習を進めたりすることを伝える。</p>	

★【めざす子どものふり返りの姿】

考えていたことを、**You can** とかの習った表現を使ってうまく伝えることができた。そこでできることをジェスチャーなどでもう少し分かりやすく説明したり、様子を表す表現をふやしたりすると使うと、より海田の名所のよさを伝えることができそうなので、もう少し工夫していきたい。

○挨拶をする。

(6) 板書計画

<p>Today's goal</p> <p>海田町ガイドのやり取りをして、より伝わりやすい工夫を考えよう</p> <p>案内したい場所</p> <p>< see ></p> <p>< eat ></p> <p>< enjoy ></p>	<p>What do you want to do?</p>	<p>Thursday</p>	
	<p>I want to</p>	<p>see eat enjoy</p>	<p>November 30th</p>
	<p>How about (おすすめの場所)?</p> <p><様子やよいところの紹介></p> <p>You can ~. It's ~.</p>	<p>sunny</p> <p>(絵カード)</p>	
	<p>Good. I want to go there. Where is it?</p>		
	<p><地図を使って道案内></p> <p>Go straight. / Turn right/left.</p>		